

3月定例会の報告

令和4年3月定例会が2月22日から3月23日までの30日間の会期で開催されました。

定例会初日には、諸般の報告1件、監査報告6件、報告3件、人権擁護委員の推薦についての諮問3件、令和4年度一般会計予算など82議案からなる合計95の事件が上程されました。議決を要する86の案件のうち、報告1件、諮問3件、議案19件が可決され、残りの63の議案がそれぞれ、経済常任委員会、教育民生常任委員会、建設常任委員会、総務常任委員会に付託されました。

令和4年度一般会計予算の審議に先立ち、福田市長から「施政方針」について説明がありました。コロナ禍において、感染対策、経済対策を推し進め、この難局を乗り越えるとともに、これまでのまちづくりの流れを止めることなく、しっかりと取り組んでまいりたいとの方針が示され、岩国市の重要課題に対する基本的な考え方、「子育てといきいきとした暮らしを応援するまち」「誰もが安心・安全に暮らせるまち」など6つの基本目標と、それを支える行政経営について説明がありました。

一般質問は、3月4日から11日までの休会日を除く5日間で、25人の議員が登壇し、(仮称)岩国基地関連特別交付金について、自治体の情報システム等の取組について、財政の健全化についてなど、幅広い分野について活発な質問が行われました。

一般質問の初日には、議員提出議案としてロシアのウクライナ侵攻に抗議する緊急決議が上程され、審議の結果、原案のとおり全会一致で可決されました。

一般質問の5日目には、新型コロナウイルス感染症対策として実施する事業に必要な経費などを計上する令和4年度一般会計補正予算(第1号)及び岩国市国民健康保険条例の一部を改正する条例が上程されました。

補正予算第1号においては、歳入として、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」など、歳出として、高齢者を中心とした情報格差などの諸課題の解決を図る「高齢者スマホ活用支援事業(臨時交付金)」の経費や、5歳以上11歳以下の小児に対して、新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保のための経費など、補正額2億5,085万円が上程され、各常任委員会に付託されました。

付託された各議案は、14日から4日間にわたって開催された4常任委員会において、審査が行われました。

最終日の23日、各常任委員会の委員長から審査報告があり、議案第7号 令和4年度岩国市一般会計予算及び議案第46号 岩国市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例については賛成多数で原案のとおり可決され、それ以外の議案については、全会一致で原案のとおり可決されました。

続いて、議案第85号 岩国市副市長の選任につき、議会の同意を得るについてが上程され、原案のとおり可決となり、閉会しました。

岩国市議会議長 桑原敏幸